

連絡先：
神戸市須磨区横尾1丁目12-1
17棟-512号 松岡方
神戸市断酒会

あじさい

第19号

第六十回公益社団法人全日本断酒連盟

全国(東京)大会

十月十五日立川ス
テージガーデンにお
いて第六十回公益社
団法人全日本断酒連
盟全国(東京)大会
が行われました。
大会テーマとして
「断酒そして新生」
を掲げ、行政・医療
八三名、断酒会員一
四一四名、一般二九
名、合計一五二六名
が参加しました。記



念講演として厚生労
働省依存症対策専門
官・田中増郎様、東
京アルコール医療総
合センター長・垣渕
洋一様より講演いた
だきました。
開始前の雨も、我々
断酒会員の熱気と熱
意で終了前には見事
に清々しい青空がの
ぞく秋晴れになりま
した。



今大会は、兵庫県
断酒会の有志が集ま
り、マイクロボスで
の参加。参加者の仲
間の方がマイクロボ
スやホテルの手配な
どしていただくこと
より、多くの方が全
国大会に参加して各々
のより良い思い出作
り、今後の断酒の励
みになったことになっ
たことでしょうか。参
加された皆様お疲れ
様でした。
前日行事の分科会



全国アメシスト
東京の集い



全国虹の会
東京の集い

分科会
ホテルエミシア東京立川ホテル



全国家族の集い
(東京)



サングルーピング
全国の集い

(特非) 兵庫県断酒会
第二八回しあわせの村一泊研修会
並びに創立三五周年研修会

令和五年九月三〇日～一〇月一日神戸市北区「しあわせの村」において(特非)兵庫県断酒会第二八回しあわせの村一泊研修会並びに創立三五周年研修会が行われました。

行政、医療等の三二六名、一般参加者五名、総勢二二一名の参加があった。また、今回、酒害相談コーナーを設置しました。

(卓)

分科会・酒害相談コーナー

松村語録に学ぶ

一年半したら会の運営に参加しよう

何をもって一年半としているのか私ばかり分りませぬが...

私が入会平成十八年した頃は、たしか幹事は三年経たないとなれないと記憶しています。よく我慢の一年・うぬぼれの二年・断酒安定の三年といわれていますが、「断酒安定」の三年からきているのでしょうか？

入会した頃、神戸市断酒会は一三〇名位の会員数でしたから人的な余裕があったのでしよう。今はどうでしょうか？会員数の減少と高齢化で、会の運営に携わる人が重複しています。これはなにも神戸市断にかぎったことではありません。一人で何役もこなしていかなければならぬのです。

一例を挙げれば、A断酒会のB支部長は①会場の予約②会費の徴収③会場の準備・設営・配布資料④司会⑤後片付け等々...そういう姿をみているから「たいへんやなあ」と及び腰になり、役員になるのをためらうのでは

ないでしょうか。しかし、①から⑤まで一人で処理していくと間違いも生じやすく、支部会員・家族の意向が反映されない危険性があります。お互いに分担して一人だけに負担がかからないように心掛ける事が必要です。会の運営に参加するということは、仲間内での連帯感を強く感じますし、一社会人として世の中の付き合い方とかのさまざまな知恵とスキルが身に備わると思っています。(啓生)



白濁断酒生活を振りかえって断酒仲間の大切さを語る(特非)兵庫県断酒会理事長 勝浦 勝氏



サブグループ「アメリスト」



サブグループ「虹の会」



酒害相談コーナー



兵庫県断酒会第二八回しあわせの村一泊研修会 例会出席



サブグループ「シングル」

手話

北神戸支部 清瀬憲一

先般の「神戸市断酒会虹の会二十周年記念」に参加して思ったことを書きます。

平成十八年六月に光風病院現県立ひょうごこころの医療センターを退院しました。暇な時間を作ったらアカン！何か新しい趣味を持ちなさい！とよく入院中に言われたものです。ホームレスの時に、万引きやゴミ荒らしで世間に散々迷惑をかけてきましたから、何か償いの意味でボランティアみたいなものができないかと思っていました。

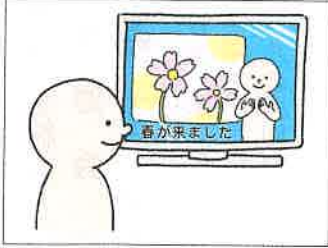
とって手話は言葉です。我々が喋っているのと同じスピードの手話表現なのです。

私にはとても速すぎて読み取ることが出来ません。十年近く勉強し、簡単な日常会話ならたどたどしくも出来ましたし、夏休みに小学生に簡単な手話を教えたり、公民館祭では童謡やTVアニメの歌や歌謡曲を手話ソングで披露したりしました。

しかし、その講座は全く初歩的なものだったので後に手話のサークルに入りました。皆さんも乗り物や街中で、手指をチャチャチャと動かしている人を見かけたことがあるはずですよ。ずっと以前にNHKでジェスチャー番組がありました。問題を身振り手振りで表現して解答する訳です。だから身振り手振りで皆さんだって普段手話を使っているんですよ。・・・・・

そんな頃に、県連の事務局を手伝うことになり時間の調整がつかずサークルを退会しました。私のサークルの先生のご主人も、聾啞(ろうあ)の人です。結婚するのには先生の両親から猛反対をうけたそうです。何とか結婚の許しを得ましたが、子供は産むなどという条件だったみたい

いです。障がい者に対する差別・偏見がまだまだ根深くあるのは否定出来ません。区役所なんかでは手話通訳士がいますが、どんな場所でも手話通訳士がいる訳ではありません。筆談に頼る場合が多いのでは無いでしょうか？断酒会の中でも、介護の仕事に従事している人はかなりいます。中には聴覚障がい者を担当している人もいますかも知れません。「私の名前は○○です。よろしくお願いします」とか「おはよう・こんにちは・こんばんは」などを手話ですればグッと距離が縮まると思つのですが、断酒会の全国大会では、手話通訳士が壇上に登場します。酒害者を救うという断酒会の使命から言わせてもらえば、非常に難しい問題ですが断酒会として手話通訳士の養成も今後の課題と言えるかも知れません。



御影公会堂食堂

「火垂るの墓」で有名な御影公会堂は、一九三三年(昭和八年)旧御影町が白鶴酒造七代目社長嘉納治兵衛氏より寄付を受け建設されました。食堂もその時に作られました。



オムライスが美味しいとの噂を随分前から聞いていましたので行ってみました。お昼一時にすぎに行つたのですが一〇組ほどの行列。食堂前の講道館柔道の創始者「加納治五郎」

神戸市東灘区

御影公会堂食堂

「火垂るの墓」で有名な御影公会堂は、食堂の中に入ると古い調度も残り、雰囲気は抜群です。ほんのり酸味のあるやさしい風味のトマトソースが美味しかったです。

あじさい 教壇

短歌 四月十日夏日となりて 風が舞い桜散る頃夏近し 山田清
天日干し日持ちが良くてもよし
わが罪を詫びつつ洗う父母の墓
汚れは落ちぬ九曜の家紋 路生
俳句 落葉舞うそれぞれ流派のあるごとく
赤い糸結びに出雲へ神の旅 路生

第五二回山陰断酒学校を終えて
 神戸市断酒会
 北神戸支部 下林 浩人



九月一日(金)の三日間、出雲市斐川町斐川文化会館において第五二回山陰断酒学校が行われました。コロナの影響で三年ぶりの開催となり神戸市断酒会から私が、兵庫県断酒会からは計十名の仲間が参加しました。また、全国各地から総数二三八名の仲間が参加しました。令和四年十一月に北神戸支部に入会して初めて二泊三日の断酒学校を体験して、二日目の朝から晩までの体験談尽くしは始めは長いと感じて

いましたが、終わってみればあつという間で有意義な一日を過ごさせていただきました。仲間という時間が長いからこそ、より親睦を深める良い出会いがあったことは、非常に有難く感謝しています。本大会で体験談発表させていただき、また多くの仲間の体験談を聞かせていただきました。反省や感謝、また過去を振り返る機会を与えていただいたことに感謝しています。色々な研修会でも聞かせていただいている家族の体験談は、いつも心に響き、母親が私のことを大切に育て、どれだけ心配していたか思い返させてもらいました。各分科会も併せて開催され、シングルの集いでは三七名の仲間が参加し、シングルならではの体験

談を聞かせていただきました。これからの断酒していく生活のヒントをいただきました。虹の会では五一名の仲間が参加し、司会の方のご配慮で体験発表の機会を与えていただきました。仲間の体験談を聞かせていただき、障害を抱える苦悩を共感し、つらい思いをしながらも必死に自分に向き合って生きていかれている仲間の存在は大きく、私もみなさんを見習って頑張っていく活力をいただきました。最後に山陰断酒学校の運営に携わられましたすべての方々にお礼を申し上げます。ありがとうございました。

次回の第五二回山陰断酒学校も多くの仲間と共に是非参加させていたいただきたいと思いをもちます。

ありがとうございました。

令和5年度 兵庫県 依存症に関する自助グループ等活動支援事業
第2回神戸市断酒会セミナー
 ～シングルのシングルによるシングルのための～
第25回シングル一日研修会
 日時：令和5年12月24日(日) 10:00～16:00
 場所：あすてっぷKOBE
 参加費：1000円(お弁当・お茶付き)
 記念講演「あなたは今日何を食べましたか?・・・生活習慣と栄養・・・」
 金城学院大学講師 磯野洋一先生
 申し込み締め切り：12月20日
 申し込み・問い合わせ先(事務局)松岡一夫
 TEL080-3774-0329 FAX078-779-0226
 メールアドレスkazuo4574@outlook.jp

アクセス
 JR神戸駅北へ徒歩7分
 市営地下鉄「大倉山」
 南へ徒歩3分・
 神戸高速「高速神戸」

令和5年度 兵庫県 依存症に関する自助グループ等活動支援事業
第1回神戸市断酒会セミナー
 テーマ『医療現場からの声』

日時：令和5年11月29日(水) 13:00～16:00
 場所 兵庫区文化センター2階・講習室
 パネラー 兵庫県立ひょうごこころの医療センター・神戸市保健所(予定)・公益財団法人復光会 垂水病院・宋神経科クリニック・幸地クリニック
 参加費：無料
 申込方法：オンライン(zoom)・会場参加下記QRコードから
 申し込みURL：https://forms.gle/XvLcek3vUJmPo1yu7
 申し込み締め切り：11月25日(金) 必着